

10月

新 着 図 書

春までのセンセイ

著者名： 早見和真
出版社： 双葉社

東京都杉並区にある中高一貫のミッションスクール、私立稜花女学院中学校。桜が咲き誇る新学期に発表された3年E組の担任は、加賀美秀彦という国語教師だった。教壇に立つ先生は私たちに説教臭い挨拶をした。そのときは「ハズレ」と思ったけれど、ほかの大人と違ってなぜか先生の言葉は不思議と心に響いてくる。もっと話を聞かせてほしいし、聞いてほしかったのに、夏休み直前に、先生は病気で学校を辞めるというウワサが駆け巡って――

残火

著者名： 辻堂 ゆめ
出版社： 東京創元社

14年前に起きた産院放火殺人事件。その被害者遺族である男性三名が行方不明になった。家族から相談を受けた強行犯捜査係・森垣里穂子は、男性らに仕事を依頼した不審な男・湊川潤を逮捕する。身元を照会すると、湊川は産院放火事件の犯人の息子だった。これは逆恨みによる犯行なのか？ 警察が湊川の目的を掘めぬまま、新たな火の手が上がった――。『トリカゴ』で活躍した刑事たちが直面した重大事件。その慟哭の真相とは。

志記（二）

著者名： 高田 郁
出版社： 角川春樹事務所

舞台は文政五年（一八二二年）、医を志す蔵源美津と、刀匠を目指して修業中の高越暁は、江戸で初めて出会う。同年同日に生まれ、女には困難な道を選ぶ二人だが、気性も考え方もまるで違う。暁に憧憬を抱く美津に対し、暁は何の関心も示さない。名匠真達のもとで一人前の刀匠となるべく修業を続けるものの、思うような鋼を鍛えられず、壁にぶつかる暁。女ゆえに患者から診察を拒まれたり、遅れて入塾した者があまりに優秀だったり、八方塞がりの美津。

きずもの

著者名： 西 加奈子
出版社： 小学館

小説家・松川貢は、郷里の幼馴染みである田持猛とゆるやかにSNSで繋がりを続けていた。運動が得意だった猛は、貢にとって仰ぎ見る存在だったが、いまやその関係性は真逆のものになっていた。某写真家のパーティーで貢と出会った遥は、ある出来事を機に、カナダ・バンクーバーで生活をする親友の万千花のルームシェア相手になる。幼少期から互いを知る二組には、それぞれの時間が着実に流れていた。

あなたのいない世界で

著者名： 原田ひ香
出版社： 光文社

「これだけは読んでほしい、そんな小説を集めました」「お金」「食」「本」「老い」、生活に密着したモチーフを独特の視点で物語る「原田ワールド」。話題作を次々と生み出し、今もっとも勢いにのる著者が、デビューから今に至る19年の軌跡を詰めた、未発表二作品を含む珠玉の作品集。

隠元

著者名： 澤田 瞳子
出版社： 文藝春秋

寺の門前に捨てられ、自らの名前以外、何も持たなかった孤児。すべてを諦めてきた彼の目の前にあらわれたのは、日本中の注目を集める高僧だった――。鎖国時代に明から来日し、隠元豆、木魚、煎茶、椅子などさまざまな文物を伝えた隠元禪師。仏教界のみならず、庶民たちの間にまで一大ムーブメントを巻き起こし、禁裏と幕府の双方から厚い帰依を受けるが、それゆえに時代の渦のなかにも巻き込まれていく。江戸からの圧力に不満をためる公家たち。帝と、時の力者の諍い。その影響としてあらわれる理不尽……我欲にまみれた人の世で、異国の僧が日本に示した献身の理由とは。誰もが知る高僧のとらえがたき実像を、彼を慕う寺男・快鳳の目から描く傑作歴史長編！

殺し屋の出世術

著者名： 野宮 有
出版社： 講談社

凄腕営業マン鳥井が殺人請負会社〈極東コンサルティング〉に入社してから半年。個性的な殺し屋たちを束ねながら、順調に業績を重ねていた。だが突如、謎の男・鷹見に拉致され、上部組織〈巣ヶ谷一家〉組長のもとへ連行される。告げられたのは、鳥井と鷹見で争う出世レースの開幕。勝者には〈極東コンサルティング〉社長の座が、敗者には死が与えられる。もちろん、鳥井に拒否権はない。丸腰の営業マンは華麗なるトークを武器に、生き残ることができるのか！？ 情け容赦ない頭脳戦が始まる！

長崎出島かれいどうすこうぶ

著者名： 永井 紗耶子
出版社： 新潮社

幕府の許可なくば出入りのできない〈孤島〉に隠され続けた、禁忌と悲願とは。光太は念願の内通詞となり、謎の言葉を遺し出島で逝った母の死の真相を探ろうと試みる。しかし奉公先の番頭や内通詞の先輩はいい顔をせず、知り合った遊女やオランダ商館の使用人も何かを隠しているようで……。唯一無二の流儀を持つ土地から放たれる妖しい力が謎解きの愉しみを倍加する、傑作時代エンタテインメント！ 一方、八百万町では、ある若い女性が我が子を残して川から水死体で発見されていた。事件の真相を探るうち、太郎は町を揺るがす巨大な疑惑に巻き込まれて……。

次の2冊は配架が遅れます。

難病ALSのママが綴るいのちのレシピ もしもキッチンに立てたなら

著者名： はらだまさこ
出版社： 徳間書店

4才と12才の子の母であり、シェフのまさこさん。
数年前、難病ALSだと診断を受けました。
治療法が確立されていない進行性の病気です。
発症してすでに3年以上が経っています。
「子どもたちに”母の味”を残したい」
病と向き合う著者がそんな願いを胸に綴った、
料理が好きな人や、家族を大切に思うすべての人に
届けたい胸に深く響くエッセイ&レシピ集です。

世界秩序が変わるとき 新自由主義からのゲームチェンジ

著者名： 齋藤 ジン
出版社： 文藝春秋

あのジョージ・ソロスを大儲けさせた“伝説のコンサル”初の著書
ヘッジファンドが見すえる中国の衰退、そして日本復活
資産運用業界の“黒子”に徹してきた私が、なぜ初めて
本を書くことにしたのか。
それは、日本の方々に伝えたいメッセージがあるからです。
ひとことで言えば、日本は今、数十年に一度のチャンスを迎えているということです。
東西冷戦後の世界秩序を支えてきた「新自由主義」が崩壊し、勝者と敗者がひっくり返る“ゲームチェンジ”が起きているのだー。マネーの奔流を30年近く見てきたコンサルタントによる初の著書。